

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果・分析について

三重県教育委員会

平成 29 年 12 月

平成 29 年 4 月に実施された「平成 29 年度全国学力・学習状況調査」の結果が、8 月 28 日に文部科学省から公表されました。

本県では、全国の平均正答率を上回ったのは中学校数学 A のみにとどまりましたが、中学校 3 年生は小学校 6 年生時（平成 26 年度）の調査の結果と比べると、全教科で大きく改善しています。また、平均無解答率も、小中学校あわせて 8 教科中 6 教科で全国平均よりも低く、子どもたちの最後まで頑張ろうとする姿が見られ、「やればできる」という思いが形になってきています。

一方で、国語では、「引用したり要約したりして書くこと」「根拠に基づいて自分の考えを書くこと」に、算数・数学では、「割合」「図形」に経年的に課題が見られます。また、質問紙調査結果から、授業において子どもたちが自ら課題を解決するための主体的な学びや、家庭での学習時間やスマホの使用時間、読書習慣に引き続き課題が見られます。

今回の結果を踏まえ、各学校においては、子どもたちが「わかった」「できた」と実感できる教育実践を教職員が一丸となってさらに積み上げていくことが、また、家庭・地域においては、生活習慣、学習習慣、読書習慣の確立に向けた取組を広げていくことが大切です。

子どもたちの学力が向上することは、自尊感情・自己肯定感やチャレンジする力を高め、将来の夢を実現するための可能性や選択肢を広げることに繋がります。私たち大人一人一人は、子どもたちのために、そのやる気や頑張りに応えられるよう取り組んでいく必要があります。

現在、三重の子どもたちの夢や希望をかなえる学力を育んでいくことができるよう、県・市町等教育委員会、学校・家庭・地域が一体となって「みえの学力向上県民運動セカンドステージ」に取り組んでいます。子どもたちの豊かな未来の実現に向け、引き続き県民の皆様方の御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

～全ては「子どもたちの笑顔」のために～

※調査結果の取扱いについては、文部科学省が示す実施要領における「5（5）調査結果の取扱いに関する配慮事項」をご覧ください。（P. 59 に抜粋して掲載しています。）